

女子高等科3年生 及び 保護者各位

期末考査も終了しました。今回の期末考査は「第1回実力考査」の前哨戦として重要な試験です。全力で頑張ったことと思います。

1学期の成績、第1回実力考査の結果は、2学期の学校生活、いや将来をも決めてしまう重要な試験です。特に、第1回実力考査で実力が発揮できないと、第2回実力考査の結果が出る1月中旬まで、精神的にも相当な重圧となってしまいます。

『第1回実力考査で良い点数をとる』には、夏休みの過ごし方が重要です。

「実力考査」は必須の英語・数学・国語(各200点満点)と選択科目の社会、理科(各100点満点)ですが『4割以上とれば良い』などと安易に考えていませんか? 全て既習の範囲とはいえ、かなり忘れていているものです。

試しに『数学』の過去問を解いてみましょう。実際の試験と同じ100分で…。スラスラ解けますか? いろいろなところでストップしてしまう! やったことがあるけれど…。途中までは分かるが! 正解かどうか! など、結構ショックを受けるのではないのでしょうか!

『英語』は試験範囲がないので何を勉強したらよいかわからない、などと暗中模索のまま時間が過ぎて行ってしまう生徒が多々います。長文読解が3題出題されます。文法問題は定期考査などの既習範囲から出題されます。もちろんそのままではなく、整序問題や空所補充、同義語問題などに形を変えた問題です。

『古文』は“勉強すればできる”教科です。毎年出題されていた“徒然草”は2017年度からは第2回のみになりました。29年度「伊勢物語・宇治拾遺物語」、30年度「十訓抄・大和物語」、令和1年度「沙石集・伊勢物語」、令和3年度「伊勢物語・建礼門院右京太夫集」、令和4年度「十訓抄」「大和物語」、令和5年度「更級日記」「枕草子」、令和6年度「伊勢物語」「今昔物語」から出題されています。定期考査と同じような出題形式です。「文法問題」と併せて得点源になる教科です。類似問題で実践演習します。

日本総合教育舎では、「第1回実力考査対策・夏休みセミナー」を実力考査や定期考査の過去問題、学校からの推薦問題集などから資料を作成し、実施します。

長い夏休み、自分一人で勉強していると「何から手をつけて良いのか分からない!」「得意の分野ばかりやっちゃって、苦手なところは飛ばしてしまう!」などのコメントを毎年耳にします。

「夏休みセミナー」の特徴は、全ての分野を過去の出題傾向やレベルに合わせ、系統立てた内容にて問題を構成、指導することです。

講習の特徴は自宅学習も含む内容です。連続して受講するのではなく、数日間時間をおいて次の授業に進みます。その間、自宅で復習と予習勉強をして次の授業を受講します。自分自身で勉強しないと『分かったつもり』になってしまいます。「学校で、塾でよく分かったのに、自宅へ帰ってやってみると分からなかった…。」などの経験があると思います。自宅学習で復習、予習をしっかりやり、次のステップへ進めば「やりっ放しの勉強」ではなく一つ一つを確実なものにすることができます。

日本総合教育舎では、学習院中学・高校(男子・女子部)生のみにも指導しています。学習院の生徒のみですので、実力考査や定期考査の過去問題や資料などは確実に網羅されています。また、講師陣も毎年、実力考査の対策授業を経験していますので、試験の傾向、特徴等を考慮に入れながら指導に当たっています。

夏休みは計画を立てた勉強をしないと、お昼まで寝てしまったり、自分一人で勉強していると抜けのある勉強になってしまいます。

最後の夏休み、悔いの残らない夏休みにしましょう。

ここに「入学要項」と「第1回実力考査対策・夏休みセミナー」のご案内を同封いたしました。内容をご熟読の上、ご参加下さい。

日本総合教育舎
代表 戸田憲久

※「第1回実力考査対策・夏休みセミナー」は会員のための講座です。

受講希望者は同封いたしました「入学要項」により、入学手続きを完了して下さい。

2025・学習院女子高等科3年生のための

第1回実力考査対策・夏休みセミナー



★9月6日・8日の『第1回実力考査』に備え、数学、英語、国語、選択科目の社会(政治経済・日本史・地理B・倫理・世界史)・理科(地学基礎・化学基礎・生物基礎・物理基礎)を過去問題をベースに教材を製作、指導します。(理系の生徒にも対応しています。)

★講習は日程、時間帯、科目を自由に選択できます。連続して受講するのではなく、一日受講したら復習・予習の勉強日を設け、次の講習で確認し、更にその先の学習内容に進むシステムです。

『分かったつもりになる』講習ではなく、確実に理解し、実力を養成します。

●「第1回実力考査対策・夏休みセミナー」は会員のための講座です。

一般の方は「会員手続き」をすることによって受講できます。

◆科目と内容

科目	内容
文系数学	数Ⅰ・数Ⅱ全て、数A(第1章)、数B(既習範囲)、数C(ベクトル)の単元から出題されています。どの分野でも確実に得点できるよう、系統立てた問題を解きながら、解説指導します。
理系数学	数Ⅰ・数Ⅱは全て(1部除く)、数Ⅲ(既習範囲)、数A(第1章)、数B(第1章～3章)数C(既習の範囲)までの全ての分野を実践指導します。難易度の高い問題を確実に解けるよう指導します。
英語	英語の鍵は「長文読解」と「文法問題」です。イディオムや文法問題は既習事項より出題されています。過去問を用いて長文読解と英文法の実践演習をします。
古文漢文	古文は文章問題、文法、文学史など過去の出題傾向より作問し、実践演習をします。漢文は、基本句形に慣れ、短文を読解をします。
地理B	世界の地形と気候、世界の諸地域(地形、国土の区分、気候と農業、鉱工業)、世界的な課題(人口、人種・民族、宗教、領土問題)に分類し、指導します。
政治・経済	民主政治について、日本の政治機構、日本国憲法の基本的性格、現代政治の特質と課題、国際政治に分類し、指導します。
日本史	試験範囲の時代を原始・古代、中世に分け、教科書の注釈と過去問題より、問題を作成、指導します。
世界史	歴史的事項と人物名、歴史上の出来事の並び替え、歴史的事項の内容選択と説明問題など、毎年同じパターンの出題です。重要項目を取り上げ、問題形式に慣れる実践指導をします。
倫理	自然哲学者たち、ギリシャの3大哲学者、啓典の3宗教、東洋の思想と現代社会の諸問題に分類し、指導します。毎年同じ問題形式です。
地学基礎	「セミナー地学基礎」の問題集を中心に、過去の定期考査、実力考査の問題より実践指導します。
化学基礎	ゼミナール化学基礎をベースに「物質の構成」と「物質の変化」より、基本的な化学計算、化学結合、酸・塩基、酸化還元などに分類し、指導します。
物理基礎	物体の運動とエネルギーと様々な物理現象とエネルギーの利用から過去問題を分類し、出題傾向に類似した問題を実践指導します。
生物基礎	生命と遺伝子、生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、生物の体内環境の維持などに分類し、指導します。

各科目とも、『過去問題』と学校で指示された『教材』を考慮に入れ、作問し指導します。

日程および時間帯

- クラスは全て個別クラスです。
- 日程・日数・時間帯・教科は事前に打ち合わせ、下記の要項の中、自由に受講できます。

○日 程 7月17日(水)～9月4日(水)
※(8月11日(日)～18日(日)(夏季休暇)・8月23日(金)～25日(日)(研修の為)

○日 数 4日間以上(30分で1単位、1科目3単位以上から受講できます)
※1科目の最少受講日数は4日間です。(12単位)

○時間帯 下記は目安の時間帯です。事前に打ち合わせて決めます。

①	10:00～11:30
②	11:40～1:10
③	2:00～3:30
④	3:40～5:10

(例)・1科目受講の場合は:1日1科目90分授業(3単位)×4日=12単位
・2科目受講の場合は:1日2科目180分授業(6単位)×4日=24単位

○教科 ・文系数学 ・理系数学 ・英語 ・古文漢文 ・物理基礎 ・化学基礎
・生物基礎 ・地学基礎 ・地理B ・政治経済 ・倫理 ・日本史 ・世界史
・物理(理系) ・化学(理系) ・生物(理系)

◆受講料のお支払いについて

- ・平常授業で使用している「単位」を使用します。9単位以下になりましたら、ご請求いたします。
- 「夏休みセミナー」から入学する方は、『入学要項』より、入学金と受講料を選びお支払い下さい。
※2学期平常授業を受講することが必須です。(週1回1科目以上の受講)

申込方法

□申込方法 「申込書」に必要事項を記入の上、
①ファックス 或いは ②PDFでLINE(Official Account)で送って下さい。

※注意事項: 日程変更は、前日(17時まで)にご連絡下さい。振り替えることができます。

□申込締切 初回受講日の3日前まで

※注意事項 ・当日欠席、無連絡欠席はペナルティーがかかります。(会則参照)

●夏季休暇 8月11日(日)～18日(日)(夏季休暇)
※(受付業務も行っておりません)

◆LINE(Official Account)



■申し込み・問い合わせ先

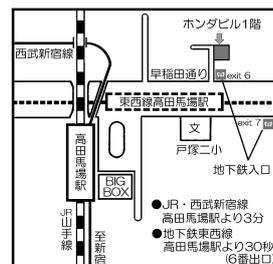
日本総合教育舎

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場2-14-5

TEL 03-3200-9731

FAX 03-3200-9904



2025 第1回実力考査対策・夏休みセミナー 申込書

生徒氏名					選択科目 [] []								
受講科目		1. (回)	2. (回)		3. (回)		4. (回)						
受講科目		5. (回)	6. (回)		7. (回)		8. (回)						
月	日	曜日	10:00～11:30	11:40～1:10	2:00～3:30	3:40～5:10	月	日	曜日	10:00～11:30	11:40～1:10	2:00～3:30	3:40～5:10
7	17	木					11	月					
	18	金					12	火					
	19	土					13	水					
	20	日					14	木	夏季休暇				
	21	月					15	金					
	22	火					16	土					
	23	水					17	日					
	24	木					18	月					
	25	金					19	火					
	26	土					20	水					
	27	日					21	木					
8	28	月					22	金					
	29	火					23	土	Jr科学研修				
	30	水					24	日					
	31	木					25	月					
	1	金					26	火					
	2	土					27	水					
	3	日					28	木					
	4	月					29	金					
	5	火					30	土					
	6	水					31	日					
	7	木					1	月					
9	8	金					2	火					
	9	土					3	水					
	10	日					4	木					

【記入方法】

- ①「受講科目」の枠に科目、()に受講回数を記入してください。
- ②受講出来ない日程には×を記入してください。(空白の枠は全て受講可能とみなします。)